

## 赤穂市文化賞

種 別	氏 名 (所 属)	功 績 内 容
文 化 奨 励 賞	赤穂西中学校 吹奏楽部 23 名	公益財団法人日本音楽教育文化振興会主催 第 29 回日本管楽合奏コンテスト全国大会 開催日 令和 5 年 11 月 4 日 成 績 優秀賞 特別賞 (バンドジャーナル賞)
	荻野 けい子	NHK 邦楽技能者育成会 26 期卒業で、NHK 邦楽番組への出演経験を複数回有する実力者。昭和 62 年に発足した邦楽グループ「はとぼっぽ」に発足当時から副会長として主体的に関わり、多くの後進を育成。邦楽を通じた地域文化の振興発展に多大な貢献をされています。

## 赤穂市文化賞

種 別	氏 名 (所 属)	功 績 内 容
文化振興者賞	水野 香保里	一般社団法人日本朗読検定協会認定プロフェッサーの資格を取得し、平成 25 年から赤穂で朗読教室を主宰。図書館、公民館等で朗読・絵本の読み聞かせボランティアを長年行い、朗読を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。
	木山 時男	吟歴 51 年で、吟道賀堂流赤穂吟詠会会長を 9 年以上務め、自らも全国的な大会で入賞。後進の育成に努めるなど、詩吟を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。
	十市 マスエ	平成 2 年から 27 年間、赤穂市民会館サークル絵画同好会で絵画に親しみ、平成 22 年、27 年の赤穂市美術展において市長賞を受賞。女・女・女展の会では、平成 30 年から 3 年以上会長を務めるなど、絵画を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。

## 赤穂市文化賞

種 別	氏 名 (所 属)	功 績 内 容
文化振興者賞	鍛治本 美津代	平成7年に書道師範免許を取得後、自宅で書道教室を開設し、書道の指導を続ける。令和3年から赤穂書道会副会長を務め、書道を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。
	大村 正文	平成28年から全日本写真連盟の兵庫県本部員として、県下で活躍。平成29年から7年間、フォトクラブ赤穂の副会長を務め、会員に写真撮影の技術的指導を行うなど、写真を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。
	黒田 紀典	「赤穂楽碁会」を創立し、碁会所で市内外の人々が囲碁を通じて交流する場を創出。子供向けに囲碁教室を開き、プロ棋士を輩出するなど、囲碁を通じた地域文化の振興発展に寄与されています。